

感染症対策を加えて実施 葛巻町職員の避難所設置、運営訓練

8月7日、町は「避難所設置、運営訓練」を実施し、町と葛巻分署の職員ら45人が参加。台風シーズンを前に、避難所における新型コロナウイルス感染症などへの対応を想定した訓練を行いました。

職員らは、7月に岩手県が示した「新型コロナウイルス感染症対策に配慮した避難所運営ガイドライン」を基本に、換気や3密に配慮した「避難所設置訓練」や「避難者受入訓練」など実際の避難所での対応を想定した訓練を実施。さらには、発電機の使い方や6月に県内トヨタ3社と締結した「災害時の避難所等における給電機能付き車両等の支援に関する協定」に基づき、給電機能が付いたプラグインハイブリット車(PHV)からの「非常用電源確保訓練」を行いました。

觸澤義美副町長は「職員は災害発生時のさまざまな状況に臨機応変に対応し、支援活動に当たることが求められる。このような訓練を通じて、災害対応に関する知識と心構えを身に付け、有事の際には迅速で的確な対応に努めてほしい」と士気を高めていました。



△給電機能付き車両から電力供給の流れを確認する職員たちと発電機の使い方を教える葛巻分署員



発熱者を想定した専用受付の様子

■新型コロナウイルス感染症対策と災害時の避難

新型コロナウイルス感染症が収束しない中でも、災害時には「**危険な場所にいる人は避難すること**」が原則です。

次の5つのポイントを参考に、適切な避難行動をとりましょう。

《5つのポイント》

①避難とは「難」を「避」けること。

安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。



②避難先は、公的な避難所だけではありません。

安全な親戚、知人宅に避難することも考えてみましょう。

③避難所のマスク、消毒液、体温計は十分ではありません。

できるだけ自ら携行してください。

④町が指定する避難場所や避難所が変更、増設される場合があります。

災害時には、くずまきテレビや町のホームページなどで最新の情報を確認しましょう。

⑤豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。

やむをえず車中泊をする場合は、浸水しないように周囲の状況を十分確認してください。

【災害時のお問い合わせ先】

総務課 ☎66-2111 内線221、223

9月1日は「防災の日」

災害時、慌てずに行動できるよう、一人ひとりが防災対策について考え、地域の防災訓練に積極的に参加しましょう。

☎盛岡中央消防署葛巻分署 ☎66-2709

台風シーズン到来

「逃げ遅れゼロへ！ 避難について考えよう」

近年、日本各地で記録的な大雨が観測され、水害や土砂災害などにより甚大な被害が発生しています。もし、このような災害が自分の身に降りかかった時、私たちはどのような行動をとれば良いのでしょうか。

台風シーズンを前に、改めて適切な避難行動について考えてみましょう。

「自らの命は自らが守る」意識を持ち 適切な避難行動をとりましょう！

■警戒レベルとは…

気象庁や市町村が発信する避難情報は、5段階の「警戒レベル」で整理されています。「警戒レベル3」では、避難に時間を要する高齢者などは避難を開始し「警戒レベル4」では、危険な場所にいる全員が避難することになります。

警戒レベル	皆さんがとるべき行動	避難情報など
5 ★★★★★	すでに災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。	災害発生状況
4 ★★★★★ 全員避難!!	速やかに危険な場所から避難先へ避難しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難勧告 《避難指示(緊急)》
3 ★★★★ 高齢者などは避難	避難に時間がかかる人(高齢者、障がいのある人、乳幼児、妊産婦など)とその支援者は危険な場所から避難しましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	避難準備 高齢者などは避難開始
2 ★★★	避難に備え、ハザードマップなどにより、自らの避難行動を確認しましょう。	大雨注意報、洪水注意報
1 ★	最新情報に注意しましょう。	早期注意情報

★気象庁が発表するもの ★町が発令するもの